

# 函館北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

2018~19年度 国際ロータリー テーマ  
インスピレーションになろう

2018~19年度 国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

成田 豊 会長 テーマ “融和と柔軟を”

★会長 成田 豊 ★幹事 弗田和則

《第2628回例会》第22号 2月27日(水)

## 本日のプログラム

卓話「身近に潜む火災危険」

函館市北消防署予防係 畑山 遼吾 氏

2018~2019 <第2627回例会>

第21号 2月20日の記録

- ◎司 会 成田 豊 会長
- ◎斉 唱 ロータリーソング、四つのテストともに割愛

- ◎会長報告 成田 豊 会長  
先週、理事会を開催しました。
- 山下会員が死去されました。弗田会員に急遽、残り5ヶ月幹事をお願いしました。  
次回から私と弗田幹事という形で今年度はやっていきたいと思っております。
- 当会の奨学金制度が、今の時代には規定が厳しいということで変更いたします。皆さんの方に、事務局から送付いたしますので、何かございましたら言っていただければと思っております。
- 3月30日のIMは、全員登録と言うことでよろしく願いいたします。
- 守田会員は、これに伴いまして社会奉仕委員長と理事にお願い致しました。

- ◎幹事報告 弗田 和則 幹事
- 例会変更のお知らせです。2月28日(木)函館ロータリークラブ夜間例会に変更。

- ◎親睦活動委員会 増田 定雄 委員長  
ニコニコBOX投入報告  
成田会長・森会員・増田会員・村井会員・吉田会員  
深瀬会員……今日はよろしく。北海道立工業技術センターの訪問楽しみにしています。



2月20日 職場訪問  
北海道立工業技術センター

◎職場訪問 北海道立工業技術センター  
職業奉仕委員会 村井 茂 委員長

北海道立工業技術センターは、昭和61年に工業技術の高度化を促進するために、北海道が函館地域の中核的試験研究機関として開設し、(公財)函館地域産業振興財団が管理運営を行っている「公設民営」の試験研究機関です。



奥尻の震災復興の際、平成11年にこの施設に天皇皇后両陛下が来られました。その前、現在の皇太子やその他の皇室の方が来られております。

この部屋は水産食品加工に関する研究をしております。最近では海水という機械で、海水から水を作る装置です。ちょうど今の道路にあの溶けたしゃぶしゃぶのような状態になるものを出すという風に考えていただいて良いと思います。海水から塩分濃度を調整することでしゃぶしゃぶの水を作る温度コントロールできます。この技術で、函館市内では、株式会社「旬花」や「サンフーズ」がシンガポールまで、遠くは中東までよい鮮度を保って送って好評をえています。日本の国内で流通している刺身のレベルのものを提供できるところです。さらに、海水を使うと、水ですので重量がありますので、水分を除いて作ることを、雪のような状態のものを開発しております。



この装置は、市内ではあまり持っていない装置です。海物語魚を常温で詰めて持ってくといわゆるレトルト食品などのような加工が必要となります。この機械は、15分間とか加熱、滅菌と120度で加圧し、レトルト



バックを作る試験装置です。これで味とかその他をいろいろ試して、条件が決まったら大型の装置で市販品を作り販売する手順となります。

この部屋は、材料などを加工する部屋です。この装置は、金属をプラズマ焼結して、細かい金属やセラミックなどを、混ざらないようにして層状に作る事が出来る装置です。例えば、刃はセラミックで本体は金属で出来ているナイフなどを作ることが出来ます。



北斗市にある菅製作所が作ったのですが、この企業はもともと漁業機械という船のクラッチやクレーンなどを主として手掛けておりました。今の社長が2年間ここに研究派遣という形で来て、人脈と技術移転を行いましたところ、現在では真空やこの技術を使ったことが主体となり、業務転換をうまくいっております。この隣の部屋にはクリーンルームがあり、ICを作る装置や、電子顕微鏡があります。クリーンな環境で加工出来る部屋があります。そこでNDK株式会社などがよく使用しております。

この部屋は、電波暗室で、機器が出す電波を測定することが出来る部屋です。電波を出して動く機器の代表は、携帯電話ですが、電波を出して函マス機器の測定などをその機器を回転させ、このアンテナで測定します。そしてこの危機で測定した結果を、最近札幌でも届け出す部署が出来ましたが、そちらに提出します。この装置がここにあることにより、測定の為に東京札幌まで行くことが不要になります。



この部屋は、光造形装置で、光で固めながら立体模型を作る装置です。この装置で原型をつくり、そして金属に置き換えたり、試作品を作り、いろいろテストして、実際の市販品を作る前段階の装置です。例えばイカロボットに使うおもりの形態を



シュミレーションで計算し、光造形で原型をつくっています。

入口の展示室の説明では、食品関係についてこの地域の有力な資源を使って色々作ってるといふこと。最初は、鹿部町の入江船橋商店が駒ヶ岳の軽石を使って魚の干物を軽石干しとネーミングをして売り出しています。ねほっけを使って農林水産省のお金を頂きながら押し寿司を作り、売り出しています。こちらでもさっき言ったシャーベット氷を船の上で作作り、その場で生き締めを出来るようにしています。パテントワークは、アイデアだけで体幹を鍛えたり、呼吸法をトレーニングするマスクを作っています。東急ハンズで売っております。



サケの定置網に、ゴマファザラシが網の中の鮭を食べてしまうことを、ゴマファザラシの嫌いな超音波で遠ざける機器を開発しています。

がごめの関係の開発については、当試験場が主に担っており、お土産などでようやく注目されております。

昆布だしと売られていても、実際には昆布は5%以下しか今までは入ってなかったんです。それは昆布の粘りによる不織布が詰まってしまうからです。ここでその粘りを取ることが可能となったので、30%昆布をいれることが出来るようになってきました。またイカ墨についてもいろいろ研究しており、イカ墨の紫外線吸収効果を利用して、化粧品や、サングラスなどに入れてあります。また、食べられるインクとして利用し、錠剤の表面に印刷するなどにも利用しております。昆布の関係についても、間引き昆布というのは名前が悪いので春取りネーミングして、ちょっとわかめのイメージになるような商品を開発しました。その他王様シイタケや、いろいろ関係しております。たった一人でアイデアだけでセンターと一緒に商品化することも可能です。一番大事なのは、社長の信念で、折れることなく続けることだと思います。などの説明がありました。

深瀬会員からマイクロバブルによる牡蠣の消毒についての質問や、石橋会員から職員の数についてなどの質問ができました。研究職員17名 正規職員は26名、平均年齢53歳と笑いが自然と出るような、そして丁寧にお答えしていただきました。北海道立工業技術センターおよび事務局長の宮原則行様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

(会報担当者：村井 茂 委員長)

**土地・建物・調査・測量・登記・土木設計**  
**GIS 国土地理情報 等**

 **株式会社 南木測量設計事務所**

代表取締役 **南木 哲雄**

〒041-0821 函館市本通2-17-15  
TEL 0138-54-5550 FAX 0138-54-5553  
E-mail minamiki@crocus.ocn.ne.jp

(広告掲載：南木 哲雄 会員)

◎ 1月23日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	20名	出席率対象会員	19名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	15名	当日欠席	4名
他クラブ出席	1名	出席合計	16名
出席率		84.21%	

**次回のプログラム**

2018年3月6日(水)

**通常例会**

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番